

「最高の自己紹介」をしよう !!

「こどもプレゼン教室」オンライン教室のご案内

福井新聞社
一般社団法人プレゼンテーション協会

ビジネスパーソンに限らず、子どもたちにとっても、自分の考えを論理的に伝える「プレゼン」はとても大事なこと。鯖江市出身のプレゼンテーションクリエーターであり書家でもある前田鎌利さんが代表理事を務める日本プレゼンテーション協会と福井新聞社が協力して、8月23日に「こどもプレゼン教室」をオンラインで開きます。「プレゼン」と聞くと、なんだか難しく感じるかもしれません、今回のテーマは「自己紹介」。人生で最も多く使うプレゼン「自己紹介」をみんなで一緒に学び、「最高の自己紹介」ができるようになろう!!

- ▽日 時 8月23日（日）午後2時～3時
- ▽対 象 小学校3年～6年生
- ▽定 員 480人（先着順）
- ▽参加料 無料
- ▽受講方法 ビデオ会議アプリ「Zoom」を使って実施
- ▽申し込み

福井新聞 ONLINE のトップページから、専用フォームに必要事項を記入して申し込んでください。

（8月2日付の福井新聞紙面ではQRコードを掲載）

~~8月18日（火）締め切り~~ 8/21(金)15時まで大丈夫です。

（定員に達した場合はその時点で締め切ります）

※当日入室する Zoom の URL は後日メールでお知らせします

問い合わせ先

福井新聞社みんなの新聞部（敷内）

電話 0776 (57) 5122

fnie@fukuishimbun.co.jp



プレゼンに関して数多くの著書を手掛けている前田鎌利さんは今年7月「こどもプレゼン教室」（宝島社）を発刊しました。



NIEとは?

NIE(Newspaper in Education)は、学校などで新聞を教材として活用することです。

もっと詳しく▶

郷土新聞コンクール 新聞を作ろう わくワークシート 授業に生きる新聞記事 新聞社見学のご案内 記者出前授業

お知らせ

2020年08月02日

プレゼンで未来つかめ 教本出版 前田さん(鯖江出身)に聞く

2020年07月22日

医療従事者の苦労理解 勝山・荒土小児童 コロナ考える

最高の自己紹介学ぼう

23日オンライン教室 小学3~6年募る

「論理的思考力が身につく!」 「はじめてプレゼン教室」の表紙



前田鑑利さんが代表理事を務める一般社団法人プレゼンテーション協会と福井新聞社が協力して8月23日、小学3~6年生対象の「こどもプレゼン教室」をオンラインで開く。テーマはいろいろな場面で必要となる「自己紹介」。前田さんは「自己紹介が上手にできるとたくさんの人と仲良くなれて友達も増える。最高の自己紹介ができる」とができる。

この「自己紹介について」「人呼んで掛けている。自分で最も多く行われるプレゼン。5歳ぐらいの子どもからお年寄りまで必ずやっている」と説明する。オンライン教室では前田さんの講演を聞きながら、自分を伝える技術を磨く。相手の印象に残るよう必要な情報を三つに絞るなど、効果的な自己紹介の方法を学ぶ



コラム 越山若水を写してみよう

2020年07月26日

年縄

2020年07月24日

文化昆虫学

2020年07月23日

海の日

「書く伸びノート」とは
書き写し例はこちら



キッズこだま

以前のテーマ >

8月のテーマは「私の発見」

もっと見る>>



過去の記事はこちら▶



新聞に挟んであるスーパーなどのチラシは、どうして紙質が違うのですか?



チラシ広告を新聞に挟んでほしい人が印刷業者などに希望する紙質を指定します。その後、県内3カ所ある折りこみセンターに持ち込まれ、販売店を通じて新聞と一緒に宅配されます。

一覧へ

福井県内のNIEニュース

一覧

2020年08月02日 23日こどもプレゼン教室 小学3~6年生の参加者募集中!

2020年07月22日 医療従事者の苦労理解 勝山・荒土小児童 コロナ考える

2020年07月19日 取材のこつ、書き方学ぶ 本紙記者授業 仁愛大ゼミ生9人

プレゼンで未来つかめ



前田さん「7月

ビデオ会議アプリ「Zoom」を通して取材を受ける

鯖江市出身の書家で、プレゼンテーションクリエーターの前田鎌利さんが7月、著書「論理的思考力が身につく！『こどもプレゼン教室』」(宝島社)を出版した。お小遣いを増やしてほしいときや習い事を始めたときに、相手に納得してもらえるように自分の思いを伝えるポイントを分かりやすく紹介している。コミュニケーション力が求められる社会。前田さんは「未来をつかむためにはプレゼンというツールが必要。論理的思考を養い、子どものころから身に付けてほしい」と訴える。(聞き手・構成 大西崇弘)

教本出版 前田さん(鯖江出身)に聞く

子どもにも論理的思考を

—なぜプレゼンの力が必要か。

やりたいことを伝える力

は一生もののスキルだ。磨くこと大きき未来が変わる。

ビジネスでは、社外の人とは価値観が違うし利害関係もある。

私がいた会社は企業買収も多く、異文化の方がたくさん来た。言葉が違うこともあった。そこで「プレゼン力はすごい」有効だった。

自分が何をしたいのか、どう

いふにすれば、自分が何をしたいのか、どう

いふにすれば、自分が何をしたいのか、どう

いふにすれば、自分が何をしたいのか、どう

いふにすれば、自分が何をしたいのか、どう

いふにすれば、自分が何をしたいのか、どう

いふにすれば、自分が何をしたいのか、どう

いふにすれば、自分が何をしたいのか、どう

いふにすれば、自分が何をしたいのか、どう

いふにすれば、自分が何をしたいのか、どう

昔みたいに一つの会社で勤め上げることが難しい社会になってしまった。20代のなか40代の自分が分からぬないが

自分の頃から伝える力を磨く重要性は。

大人になって伸びるのはとても大変だ。苦手な人は

場慣れしていない。一方、学校では20～30人の前で話す機会があり、経験を積める大切なのは単に読み上げる発表ではなく、聞いた人がどう思つかうのか、どうやって伝えるかをしっかり考えること。プレゼンの「型」を身につければ、工夫や他の人の差別化もしやすい。

© 福井新聞社 無断複製・転載を禁じます

最高の自己紹介学ぼう

23日オンライン教室 小学3～6年募る



「論理的思考力が身につく！『こどもプレゼン教室』」の表紙



前田鎌利さんが代表理事を務める一般社団法人「プレゼンテーション協会」と福井新聞社が協力して8月23日、小学3～6年生対象の「こどもプレゼン教室」をオンラインで開く。テーマはいろいろな場面で必要となる「自己紹介」。前田さんは「自己紹介が上手にできると、友達も増える。オンライン教室では、前田さんの講演を聴きながら、自分を伝える技術を磨く。相手の印象に残るようには必要な情報を三つに絞るなど、効果的な自己紹介の方法を学ぶ」

前田鎌利さんが代表する「このを学ぶんほしい」というべき掛けている。午後2時～3時で、無料料。「予オ会議アリ」「ZOOM（ズーム）」を使用。定員480人で、締め切りは18日。申し込みは福井新聞オンラインのトップページから。申込は福井新聞オンラインのトップページから。問い合わせは同社みんなの新聞部=0776（57）51-2222（平日）。メールfukei@fukuishi.mibun.co.jp（大四）

前田鎌利（まだ・かまり） 鯖江市出身。企業向け研修などを手がけ、「KATAMARI」（東京）社長で書家。東京芸大卒業後、17年にわたり通信業界で従事。ソフトバンク在籍時には孫正義氏のプレゼン資料作成にも携わった。

「このを学ぶんほしい」というべき掛けている。午後2時～3時で、無料料。「予オ会議アリ」「ZOOM（ズーム）」を使用。定員480人で、締め切りは18日。申込は福井新聞オンラインのトップページから。問い合わせは同社みんなの新聞部=0776（57）51-2222（平日）。メールfukei@fukuishi.mibun.co.jp（大四）